

土壌・地下水汚染対策技術に関するアンケート

システム・プロセス の名称（商品名）		（ ）		
対策技術 の分類		A：分離技術	B：分解技術	C：安定化技術
	No(技術の分類 表から選択)			
	「その他」の場 合の技術名称			
技術開発段階		開発中	実証中	実証済み 商品化済み 実績あり
対象媒体		土壌 地下水 ガス その他（ ）		
対象物質	揮発性有機 化合物	ジクロロメタン 1,1-ジクロロエチレン 1,1,2-トリクロロエタン		
		1,2-ジクロロエタン シス-1,2-ジクロロエチレン		
		四塩化炭素 トリクロロエチレン テトラクロロエチレン		
		1,1,1-トリクロロエタン ベンゼン 1,3-ジクロロプロペン		
	重金属等	カドミウム 鉛 六価クロム 砒素		
		水銀 アルキル水銀 セレン		
		ホウ素 フッ素		
	農薬	チウラム シマジン チオベンカルブ		
	油	重質油 軽質油 その他（ ）		
	その他	シアン PCB ダイオキシン類 有機燐		
硝酸及び亜硝酸性窒素 その他（ ）				
適用条件	位置	原位置 原位置外		
	地上構造物	あっても可 あると不可		
	土質	砂 礫 粘土 シルト ピート その他（ ）		
	地層	透水(気)層 難・不透水(気)層		
		飽和帯 不飽和帯		
	適用深度	およそ mまで 適用可能な最大深度を記入して下さい		
	作業スペース	およそ(m)×(m)必要 高さ(m)		
	妨害物質	なし あり(下記に具体的な物質名、対策を記入)		
装置・システム 導入にあ たっての 注意事項	周辺環境への影響			
	騒音の発生	なし あり(dB程度)		
	振動の発生	なし あり(dB程度)		
	臭気の発生	なし あり()		
	廃棄物など の発生	なし あり(その対策：)		

	非意図的有害物質の発生					
	可能性 その理由： なし					
	可能性 その対策： あり					
	設備設置時の必要時間 据え付け： 時間 調整： 時間 (装置を設置する場合のみ記入して下さい)					
	その他の注意事項					
コスト	対策設備の価格(仁シャルコスト) 円 (処理規模 m^3 の場合)	コスト試算条件				
	維持管理費(ランニングコスト) 円/ m^3 土壌 地下水 ガス 円/ m^3 土壌 地下水 ガス	コスト試算条件				
装置・システムの能力 (装置・システムの場合にのみ記入)	設備の大きさ	およそ $m \times m \times$ 高さ m (~ $m \times m \times$ 高さ m)				
	対策規模	m^2 (~ m^2)	土壌	地下水	ガス	その他
		m^2 (~ m^2)	土壌	地下水	ガス	その他
		m^2 (~ m^2)	土壌	地下水	ガス	その他
	処理能力	m^3 / 日 (~ m^3 / 日)	土壌	地下水	ガス	その他
		m^3 / 日 (~ m^3 / 日)	土壌	地下水	ガス	その他
		m^3 / 日 (~ m^3 / 日)	土壌	地下水	ガス	その他
適用濃度	適用物質名[単位*]	適用濃度レベル	処理後の濃度レベル			
	[]	(~)	(~)			
	[]	(~)	(~)			
	[]	(~)	(~)			
	[]	(~)	(~)			
	[]	(~)	(~)			
	[]	(~)	(~)			
	* 土壌(mg/l(溶出)、mg/kg(含有量))、地下水(mg/l)、ガス(ppmv)の単位を記入して下さい					
技術の概要	原理					

技術の概要	プロセスフロー		
	適用事例	件（別紙「対策技術の適用事例」に概要を記載した件数： 件）	
	装置・システムの特長		
	今後の課題		
論文または発表資料名（多数の場合は、代表的なもの）			
著者名（年）、論文名、文献の名称、No、ページ（論文、発表資料をなるべく添付して下さい）			
			添付 あり なし
			添付 あり なし
			添付 あり なし
			添付 あり なし
連絡先			
	所属		
	氏名		
	住所 〒		
	TEL	FAX	
	URL	e-mail	